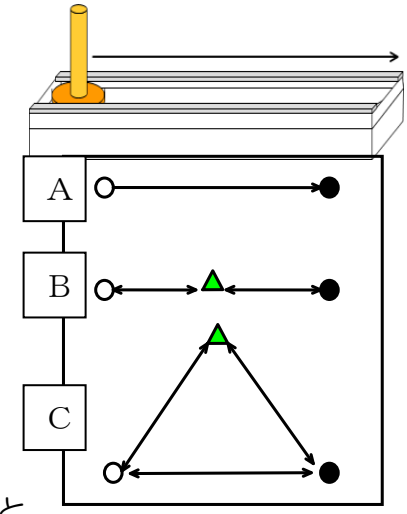
北海道白糠養護学校
学校だより
第３号　令和元年　９月２７日発行
発行責任者　　校長　菅原　康之

【お問い合わせ先】
北海道白糠養護学校　学芸部
〒088-0351　白糠町和天別１４７－２
TEL／FAX　　01547-2-5353
代表メール　hakuyou@hokkaido-c.ed.jp
HP http://www.shiranuka-yougo.hokkaido-c.ed.jp/

本校の子どもたちの素晴らしさに触れて

白糠養護学校　校長　菅　原　康　之



Ａ君が、スライディングブロックを左端から右端にスライドさせました。それを目撃した私は思わず「すごい！」と声を出しました。（この教材は自立活動教諭が作成しました。）

この操作がなぜすごいのかといいますと、私たちの世界の枠組みやコミュニケーションの基本となるからです。

そのことを段階を踏んで表したのが次の図です。Ａは○から●へ直線で一方向です。○が始点（端）、●が終点（端）になり、外界を区切って方向や距離を生み出します。Ｂは△のブロックが間に置かれ、○か●、どちらかを選ぶことができます。このとき△は●ではなく○というように位置をつくります。Ｃは真ん中の△が上に外れ、△を中心に○と●と３者の関係を成立させています。

このように、私たちの世界を直線や形で作ると「人ともの」「人と人」「ものともの」など、いろいろな関係を作ることができます。Ａ君は人やものとの関係づくりを始めたのです。

Ｂさんは最近、穏やかな表情で食事をとっているなあと思います。以前のＢさんは口に入れた食べ物を吹き出したり、教師が口へ運ぶ食べ物を手で払いのけたりする様子がありました。Ｂさんが穏やかになった理由は、手を車椅子の天板に置くようになったからではないかと私は考えています。

車いすを使用する子どもたちには背もたれに背中をくっつけている姿勢が安心です。手も横や後ろにくっつけていた方が落ち着きます。しかし、後方に安心を求める姿勢では人や物との関係はなかなかできません。前に手を置くことにより物を選択したり確かめたりさらには考えたり見通しをもったりすることができ、自分の世界を広げます。穏やかな関係を作るには手の位置が関係していることをＢさんが教えてくれました。

Ｃ君たちは毎日学校に行くのが楽しくてしょうがないといった子どもたちです。私もこの１年間の彼らの成長ぶりには驚いています。言葉が出始め、自己表現や自己主張が豊かになり、友達と会話をしたり、ときにはひそひそ話をして大好きな先生方にいたずらする作戦を練ったりと、まるで「○○三人組」に登場する元気な子どもたちのようです。

特に面白いのは、お互い仲がいいのにライバルでもあり、その場では言葉に出さずに攻防する姿です。たとえば、食事の最中にＣ君は大好きな先生とお話をします。でもお話をしていると食事を時間までに終えることができなくなります。一方、Ｄ君はそのことを知っていて、敢えてＣ君には時間のことは教えず、大好きな先生とのお話も我慢して黙々と食べ、時間内に終わらせます。結果は時間内に食べ終えたＤ君の勝利です。

実は、時間内に先に食べ終えると、大好きな先生の食器を片付けたいという願いが叶うのです。最後はどっちが得かを計算し、そのことを面に表さないその姿に笑ってしまうのです。

「令和元年度　学習発表会」開催のお知らせ

今年度の学習発表会を下記のとおり開催いたします。児童生徒たちが普段の学習の成果をステージ上で元気に発表します。たくさんの方々にお越しいただき、本校児童生徒の頑張りをご覧いただきたいと思います。ご多用の中かと思いますが、皆様のご来場をお待ちしています。

〔日　時〕　令和元年１１月２日（土）　９：３０～１２：００
〔場　所〕　北海道白糠養護学校体育館　他
〔テーマ〕　「なかよく！！たすけあう！！がんばる！！」
〔テーマ曲〕　「パプリカ」
〔内　容〕
・ステージ発表（児童生徒たちの普段の学習の成果を発表します。）
・会場全体でのダンス「パプリカ」（児童生徒が踊りの手本を見せます。）
・作品展示（本校児童生徒や保護者、教職員、交流校の作品を展示します。）

（学芸部：吉田　遼太郎）

令和元年度　鑑賞会

９月１０日（火）に本校体育館で鑑賞会がありました。

今年度の鑑賞会は「アシルブラスクインテット」の皆さんをお呼びし、金管五重奏の演奏会を行いました。演奏会の中では、使用している楽器を一つずつ曲に合わせて紹介していただき、本校の児童生徒も楽器の音の出し方や音色の違いを感じながら、迫力のある生演奏を楽しみました。

また、今年度の本校のテーマ曲である「パプリカ」や「トトロメドレー」「校歌」も演奏していただき、一緒にタンバリンやカスタネットを叩く全員参加型の活動も盛り込まれており、とても盛り上がりました。

鑑賞会の最後には、全校生徒や学部ごとに記念撮影を行い、自分のお気に入りの楽器の方とお話しや交流ができ、大満足の鑑賞会となりました。（学芸部：西森　大祐）

令和元年（2019 年）度　白糠養護学校　公開授業研究会のお知らせ

本校は昨年度から **「主体的・対話的で深い学び」をめざした授業づくり** をテーマに、校内での研究や授業実践・改善を進めてきました。その成果や課題の情報提供、また皆さまからの率直なご意見を頂く機会を設けたいと考え、公開授業研究会を実施いたします。

＊日時＊　１２月１８日（水）　９：００～１２：３０
＊場所＊　白糠養護学校

学校職員をはじめ、保護者の皆さま、地域の皆さま、教育に携わる方、本校の教育活動に興味を持って頂いた方、研究テーマについて関心のある方等、広くご来校頂き、たくさんのご意見を頂ければと思います。参加申込や問い合わせにつきましては、本校ホームページに随時情報を更新していきますので、ご覧ください。たくさんのご参加、お待ちしています。

（研究部：柳田　花菜）

～後期の主な行事予定～

１１月　２日（土）	学 習 発 表 会
１１月２０日（水）	第３回　参観日
１１月２５日（月）　～	教育実習
１２月２５日（水）	第２学期終業式

１月２０日（月）	第３学期始業式
２月２２日（土）	第４回　参観日
３月　８日（日）	卒業証書授与式
３月２４日（火）	修　了　式

～各学部の様子～

小学部

今年度の小学部は、５年生が２名、６年生が１名という小さな集団ですが、とても活発でにぎやかな毎日を送っています。友達同士の関係や児童と教師の関係がより深まり、自分の思いや願いを積極的に相手に伝えること、相手の気持ちをくみ取り理解しようとする姿が多く見られるようになりました。

どの授業場面においても、「やってみよう！」「次はなんだろう？」という意欲が高く、「できた！うれしい！」という達成感を得ながら、自信をもって力強く前進していく子どもたちから「成長したい」「もっと伸びたい」というパワーを感じることができます。

今後も、子どもたちの「学びたい」気持ちに応えるため、意欲をもって取り組める学習内容の工夫と、学んだことが生活に生かされる経験を繰り返しながら「学ぶ楽しさ」を味わえるような授業作りに努めていきます。

（小学部：佐藤　茂枝美）

高等部

高等部では全員で行う音楽の時間とグループに分かれて行う音楽の時間があります。

全員で行う音楽は週に１時間ですがグループの時間に培った力を発揮して一緒に歌唱や身体表現をしたり合奏したりしています。得意なことは一人一人様々ですが７人集まって楽しく学習しています。今行っている単元では、歌唱担当と身体表現担当に分かれて一つの曲を表現しています。お互いの発表を鑑賞し、どこがよかったか等、感想を話し合いながら深く学びあっています。

１１月の学習発表会で発表できるようにみんな一生懸命練習しています。当日はたくさんのみなさんのご来場をお待ちしています。

（高等部：石渡　雅道）

歌唱表現

身体表現

中学部

見学旅行in SAPPORO

９月４日（水）～６日（金）の２泊３日で札幌方面へ中学部３年生の見学旅行が実施されました。１日目は、白糠駅から『特急スーパーおおぞら６号』で札幌まで行きました。車内では、窓に見える外の景色や、列車の音などを楽しんだり、札幌までの駅の数を確認したりしながら過ごしました。２日目は、地下鉄と JR を乗り継いで新札幌まで行き『青少年科学館』と『サンピアザ水族館』を見学しました。科学館では、見る角度によって大きさが変化する鏡やさまざまな体験コーナーなどに夢中になっていました。水族館では魚や貝に触ったり、人なつっこいアザラシと水槽越しに触れあったりすることができました。

３日目は、列車の出発までの時間を利用してお弁当やお土産などの買い物をしました。列車内では３日間の疲れが少し見えつつも、お話をしたり絵を描いたりしながら、あっという間に白糠駅に到着しました。いろいろな物に触れ、見て、聞いて、初めてのことだらけの充実した３日間を過ごすことができました。

宿泊研修in KUSHIRO

６月６日（木）～７日（金）の１泊２日で阿寒方面へ中学部２年生の宿泊研修が実施されました。路線バスの中では、バスから見える景色を見たり、お話しをしたりして過ごしました。バスから降りた後は、遊覧船に乗りました。遊覧船から外の景色を見たり、気持ちいい風を感じたりしながら、マリモ展示観察センターへ向かいました。マリモ展示観察センターでは、色々な形をしているマリモを真剣に見つめていました。ホテルでは、おいしいご飯を食べ、暖かい温泉に入って、夜はぐっすりと眠ることが出来ました。

２日目は、少し疲れが見えましたが、バスの中では、静かにするというマナーをしっかりと守ることができました。釧之助の水族館では、初めて見るイソギンチャクがお気に入りになり、イソギンチャクの動いている様子を興味深く観察することが出来ました。多くのことを経験でき、とても充実した宿泊研修になりました。

（中学部：伊藤　ルナ）